

@@@「やさしいビジネスタイ語 その48」@@@

弊社 ADM におきましては、日本の親会社から内部監査が入った際に同行させていただき、タイ語・日本語の会計用語等の通訳などを含んだ内部監査のお手伝いサービスを提供しております。

これに関連しまして、2014 年 10 月号から「**やさしいビジネスタイ語**」と題し、主にビジネスシーンで頻繁に登場してくるようなタイ語の単語やフレーズについて、徒然なるまま考察しております。

内部監査が実施される際には、タイの会計基準に関連する用語が出てくることもあります。今月は、タイ国会計基準第36号「資産の減損」に登場する「減損」「回収可能価額」などの用語を考察してみます。

今月号の「会計基準 全文概説」で概説しておりますタイ国会計基準第36号「資産の減損」は、主として有形固定資産や無形資産において減損による評価減を認識するための基準です。

当基準は、資産が減損しているかもしれない兆候を基に、当該資産の「回収可能価額」を見積ることを要求しています。「回収可能価額」は「(処分コスト控除後の)公正価値」と「使用価値」のいずれか高い額で、当該資産の「回収可能価額」が帳簿価額より低い場合には企業に減損の認識を求めています。

「公正価値」とは、測定日時点で市場参加者間の秩序ある取引において資産を売却するために受け取るであろう価格または負債を移転するために支払うであろう価格と定義されています。

「使用価値」とは、資産(または資金生成単位)から生じると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値と定義されています。

感覚的には、「公正価値」=「今売ったらいくらの価値」、「使用価値」=「売らずに使い続けた場合の価値」で、 そのいずれも簿価を下回った場合には減損を認識すべし、ということになります。

◎ 減損 (IMPAIRMENT)

「減損(IMPAIRMENT)」に該当するタイ語は、「ガーン・ドーイ・カー(การด้อยค่า)」となります。

「ドーイ(ぬのと)」 = (容貌、地位、財産などの面で)劣る、(船、車などの)後部が下がる

「カー(ค1)」 = 価値、~料、~費(2015年7月号にて登場しました)

「ドーイ(คือข)」には、「象などの体形の背中から尻にかけて下がっていること」という意味もあるそうです。 「ドーイ(คือข)」には、他に以下のような用例があります。

「クンナパープ・ドーイ・クワー (คุณภาพคือยกว่า)」 = 品質が劣る

「プラテート・ドーイ・パッタナー(ประเทศด้อยพัฒนา)」 = 後進国

「ポム・ドーイ(ปมค้อย)」 = 劣等感

② 回収可能価額 (RECOVERABLE AMOUNT)

「回収可能価額(RECOVERABLE AMOUNT)」に該当するタイ語は、「ムンラカー・ティー・カート・ワー・ジャ・ダイラップ・クゥーン(มูลค่าที่คาดว่าจะได้รับคืน)」となります。

「ムンラカー (\mathfrak{y} \mathfrak{a} \mathfrak{n} $\dot{\mathfrak{n}}$) 」 = 価格、価値

「カート・ワー・ジャ(คาดว่าจะ)」 = ~と予測する

「ダイラップ・クゥーン(ได้รับกิน)」 = 取り返す、回収する

「ムンラカー(มูกก่า)」には他に、以下のような用例があります。

「パーシー・ムンラカー・パゥーム(ภาษีมูลก่าเพิ่ม)」 = 附加価値税(VAT)

(2016年2月号にて登場しました)

「コーン〃・ティー・ミー・ムンラカー(ของที่มีมูลค่า)」 = 貴重品

「カート・ワー・ジャ(คาดว่าจะ)」の「カート(คาด)」は、単独で「帯などを回してから結ぶ」といった意味も持つ そうです。「カート(คาด)」には他に、以下のような用例があります。

「カート・ケムカット(คาดเข็มขัด)」 = ベルトを締める

「カート・マット(คาดหมัด)」 = (直訳)拳に紐を巻く

昔のボクサーはグラブを用いずに、指から手首まで紐を巻いて戦った。 転じて、「戦闘準備を整える」の意。

「カート・カー(คาดค่า)」 = 値段を予測する、値ぶみする

* 「公正価値」=「ムンラカー・ユティタム(มูลค่ายุติธรรม)」、および「使用価値」=「ムンラカー・ジャーク・ガーン・チャイ(มูลค่าจากการใช้)」については、来月号にて考察したいと思います。



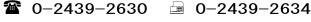
ADM ZDVILZ

会社清算業務にあたってのコンサルティング・実務支援 等

合併、清算への実務指導、会社立ち上げサービス、管理·会計システムの構築・改善・再構築、 会計ソフト導入にあたってのアドバイス、他

日本人担当: 河本 和行 (かわもと かずゆき)

日本国公認会計士、日本ITコーディネータ、日本証券アナリスト協会検定会員、タイ語能力試験ポーホック 1999 年合格









@@@「やさしいビジネスタイ語 その49」@@@

弊社 ADM におきましては、日本の親会社から内部監査が入った際に同行させていただき、タイ語・日本語の会計用語等の通訳などを含んだ内部監査のお手伝いサービスを提供しております。

これに関連しまして、2014 年 10 月号から「**やさしいビジネスタイ語**」と題し、主にビジネスシーンで頻繁に登場してくるようなタイ語の単語やフレーズについて、徒然なるまま考察しております。

内部監査が実施される際には、タイの会計基準に関連する用語が出てくることもあります。今月は、タイ国会計基準第36号「資産の減損」に登場する「公正価値」「使用価値」などの用語を考察してみます。

今月号の「会計基準 全文概説」でも概説しておりますタイ国会計基準第 36 号「資産の減損」は、主として 有形固定資産や無形資産において減損による評価減を認識するための基準です。

「公正価値」とは、測定日時点で市場参加者間の秩序ある取引において資産を売却するために受け取るであろう価格または負債を移転するために支払うであろう価格と定義されています。

「使用価値」とは、資産(または資金生成単位)から生じると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値と定義されています。

感覚的には、「公正価値」=「今売ったらいくらの価値」、「使用価値」=「売らずに使い続けた場合の価値」で、 そのいずれも簿価を下回った場合には減損を認識すべし、ということになります。

◎ 公正価値 (FAIR VALUE)

「公正価値(FAIR VALUE)」に該当するタイ語は、「ムンラカー・ユティタム(มูลค่ายูติธรรม)」となります。

「ムンラカー(มูลค่า)」 = 価格、価値(2018年9月号にて登場しました)

「ユティタム(ยูที่ธรรม)」 = 公平、公正、正義

「ユティタム(ขุติธรรม)」の「ユティ(ขุติ)」は単独で、「相応する、正しい」という意味をもちます。

「ユティタム(ยูติธรรม)」には、他に以下のような用例があります。

「クラスワンガ・ユティタム(กระทรวงยุติธรรม)」 = 司法省

「サーン・ユティタム(ศาลยุติธรรม)」 = 裁判所

「ア・ユティタム(อยูติธรรม)」 = 不公平な

「ユティ(ยูที่)」にはまた、動詞で「終わる、終わった」という意味もあるそうです。

使用価値 (VALUE IN USE)

「使用価値(VALUE IN USE)」に該当するタイ語は、「ムンラカー・ジャーク・ガーン・チャイ(มูลค่าจากการ ใช้)」となります。

「ジャーク(\mathfrak{I} つん)」 = \sim からの

「ガーン・チャイ(การใช้)」 = 使用、利用

「ジャーク(จาก)」は動詞では「離れ去る」の意味をもちます。

「ジャーク(จาก)」には他に、以下のような用例があります。

「ジャーク・バーン・ジャーク・ムアン $_{\prime\prime}$ (จากป้านจากเมื่อง)」 = 故国を離れる

「ジャーク・ミィア (จากเมีย)」 = 妻と別れる

「ドゥーム・ナーム・ジャーク・ゲーウ(คื่มน้ำจากแก้ว)」 = グラスから水を飲む

「ガーン・チャイ(การใช้)」の「ガーン(การ-)」は、動詞の前に付いて動詞を名詞化します。 例えば、以下のような用例があります。

「ガーン・ギン(การกิน)」 = 食事

「ガーン・カー(การค้า)」 = 商業

「ガーン・チャイ・ティーディン・ハイ・ペン・プラヨート(การใช้ที่ดินให้เป็นประโยชน์)」 = 土地利用

* 但し、精神活動に関する動詞を名詞化する場合には、基本的には「ガーン(n15-)」は用いず、「クワーム (n2111-)」を用いることとなっています(2017年9月号において「ガゥート(เกิด)」の名詞化を考察した際にも登場しました)。



ADM ZDVILZ

会社清算業務にあたってのコンサルティング・実務支援 等

合併、清算への実務指導、会社立ち上げサービス、管理·会計システムの構築・改善・再構築、 会計ソフト導入にあたってのアドバイス、他

日本人担当: 河本 和行 (かわもと かずゆき)

日本国公認会計士、日本ITコーディネータ、日本証券アナリスト協会検定会員、タイ語能力試験ポーホック 1999 年合格

2 0-2439-2630 **3** 0-2439-2634







@@@「やさしいビジネスタイ語 その50」@@@

弊社 ADM におきましては、日本の親会社から内部監査が入った際に同行させていただき、タイ語・日本語の会計用語等の通訳などを含んだ内部監査のお手伝いサービスを提供しております。

これに関連しまして、2014 年 10 月号から「**やさしいビジネスタイ語**」と題し、主にビジネスシーンで頻繁に登場してくるようなタイ語の単語やフレーズについて、徒然なるまま考察しております。

内部監査が実施される際には、タイの会計基準に関連する用語が出てくることもあります。今月も、タイ国会計基準第36号「資産の減損」に登場する「資金生成単位」「のれん」などの用語を考察してみます。

今月号の「会計基準 全文概説」でも概説しておりますタイ国会計基準第 36 号「資産の減損」は、主として 有形固定資産や無形資産において減損による評価減を認識するための基準です。

「資金生成単位」とは、他の資産または資産グループからとは独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位をいうとされています。減損損失は、資産またはこの資金生成単位ごとに認識されます。こういった用語は、説明文よりも例をみたほうがイメージが湧きやすいかもしれません。例えば、バス運行業を営む会社において、状況によって「路線」が資金生成単位となり得るし、また別の状況によっては「地域」が資金生成単位となり得ます。

「のれん」とは、企業結合で取得した、個別に識別されず独立して認識されない、他の資産から生じる将来の経済的便益を表す資産をいいます。のれんは非償却資産であり、減損の兆候の有無にかかわらず、毎期減損テストが必要です。

② 資金生成単位 (CASH-GENERATING UNIT)

「資金生成単位(CASH-GENERATING UNIT)」に該当するタイ語は、「ヌアイ・シンサップ・ティー・ゴー・ハイ・ガゥート・ンガン・ソット(หน่วยสินทรัพที่ย์ก่อให้เกิดเงินสด)」となります。

「ヌアイ(หน่าย)」 = 単位、ユニット(2016年12月号「加工進捗度」にて登場しました)

「シンサップ(สินทรัพย์)」 = 資産(2015年9月号、2018年3月号にて登場しました)

「ゴー・ハイ・ガゥート(ก่อให้เกิด)」 = 生まれさせる、興す

「ンガン・ソット(เงินสด)」 = 現金(2015年10月号にて登場しました)

「ゴー・ハイ・ガゥート(n'olnn)」の「ゴー(n'o)」は単独で、「生じさせる、創立する」という意味をもちます。 「ゴー(n'o)」には、他に以下のような用例があります。

「ゴー・サーン $_{r}(\dot{\eta}_{0})$ 」 = 建設する(2015 年 7 月号「建設仮勘定」にて登場しました)

「ゴー・ループ $(\dot{\eta}$ o $\dot{\eta}$)」 = 形成する、形づくる

「ゴー・ハイ・ガゥート(nolnの)」の「ガゥート(lnの)」は単独で、「生まれる、発生する」という意味をもちます。 「ガゥート(lnの)」には、他に以下のような用例があります。

「ガゥート・クン($\hat{\mathbf{n}}$ ค $\hat{\mathbf{n}}$ $\hat{\mathbf{u}}$ u) = 発生する、起こる(2017 年 9 月号「偶発債務」にて登場しました)

「ワン・ガゥート(วันเกิด)」 = 誕生日

* タイ語の「ヌアイ・シンサップ・ティー・ゴー・ハイ・ガゥート・ンガン・ソット(หน่วยสินทรัพที่ย์ก่อให้เกิดเงิน สค)」も、日本語の「資金生成単位」も、元の英語「CASH-GENERATING UNIT」を直訳したものと思われますが、『資産の』単位と入れているところが、タイ語の翻訳者のほうが親切な気がします。

② のれん (GOODWILL)

「のれん(GOODWILL)」に該当するタイ語は、「カー・クワーム・ニョム(ค่าความนิยม)」となります。

「カー(約1)」 = 価値、~料、~費(2015年7月号「減価償却費」にて登場しました)

「クワーム・ニョム(ความนิยม)」 = 好み、流行

「クワーム・ニョム(ความนิยม)」はタイ・日の辞書では「好み、流行、愛好心」と記載されています。 あくまで私の推測なのですが、これは英語の「GOODWILL」をそのまま直訳的にあてはめてしまったから ではないかと思います。

英・日の辞書(Bookshelf Basic Version 3.0) によりますと、

「GOODWILL」 = ①好意、善意、親切、親善 ②(店・商売の)信用、のれん、営業権

となっており、このうちの①のほうの意味の「クワーム・ニョム(ความนิยม)」が、のれんの「GOODWILL」にも充てられたのでは、と推測します。しかし「のれん」という言葉自体がそもそも「ごひいき」→「信用、営業権」といった意味合いから成っているようなので、あながち間違ってはいないのかもしれませんね。



ADM ZDVLZ

会社清算業務にあたってのコンサルティング・実務支援 等

合併、清算への実務指導、会社立ち上げサービス、管理·会計システムの構築・改善・再構築、 会計ソフト導入にあたってのアドバイス、他

日本人担当: 河本 和行 (かわもと かずゆき)







@@@「やさしいビジネスタイ語 その51」@@@

弊社 ADM におきましては、日本の親会社から内部監査が入った際に同行させていただき、タイ語・日本語の会計用語等の通訳などを含んだ内部監査のお手伝いサービスを提供しております。

これに関連しまして、2014 年 10 月号から「**やさしいビジネスタイ語**」と題し、主にビジネスシーンで頻繁に登場してくるようなタイ語の単語やフレーズについて、徒然なるまま考察しております。

内部監査が実施される際には、タイの会計基準に関連する用語が出てくることもあります。今月も、タイ国会計基準第36号「資産の減損」に登場する「現在価値技法」などの用語を考察してみます。

今月号の「会計基準 全文概説」でも概説しておりますタイ国会計基準第 36 号「資産の減損」は、主として 有形固定資産や無形資産において減損による評価減を認識するための基準です。

「現在価値技法」は、いわゆる DCF 法(ディスカウント・キャッシュ・フロー法)のことで、投資プロジェクトなどの価値を算出する際に用いられる技法の一つです。これは、将来キャッシュ・フローを一定の割引率を適用して割り引いた割引現在価値をもって当該投資プロジェクトなどの価値を算定する技法です。

Q 現在価値技法 (PRESENT VALUE TECHNIQUES)

「現在価値技法(PRESENT VALUE TECHNIQUES)」に該当するタイ語は、「テークニック・ムンラカー・パチュバン(เทคนิคมูลค่าปัจจุบัน)」となります。

「テークニック(เทคนิค)」 = 技術、技法、手法、テクニック

「ムンラカー(มูลก่า)」 = 価格、価値(2018年9月号「回収可能価額」にて登場しました)

「パチュバン($\tilde{\mathbf{1}}$ $\tilde{\mathbf{1$

「テークニック(เทคนิก)」は、英語の「TECHNIQUE」に由来しています。

「テークニック(เทคนิค)」には、他に以下のような用例があります。

「テークニック・プラユック(เทคนิคประยุกต์)」 = 応用技術

「シー・テークニック(สีเทคนิก)」 = (カラー映画の彩色技術の通称)テクニカラー

英語由来のタイ語は多数ありますが、「テークニック(เทคนิค)」に似た言葉に以下があります。

「テークノロイー (เทค โน โลซี่)」 = 科学技術、生産技術、(英語) TECHNOLOGY

「テークノロイー(เทคโนโลซี)」には、他に以下のような用例があります。

「サマーコム・ソン_グサゥーム・テークノロイ゛ー(สมาคมส่งเสริมเทคโนโลยี)」 = 経済技術振興協会 (ソー・ソー・トー)

英語由来とはいうものの、短縮されてしまって原型を想像するのが少し難しいものもあります。例えば、「ディック($\hat{\mathbf{n}}_{\mathbf{n}}$)」 = (口語で)辞書、(英語)DICTIONARY $\Rightarrow \hat{\mathbf{n}}_{\mathbf{n}}$ の短縮

日本語で「ディック」といえば最近ではホームセンターの名、少し前ではシンガポール歌手の「ディック・リー」、かなり前(?)ですと日本の歌手の「ディック・ミネ」などを思いつきますが、英語で「ディック」といえば、そのディック・ミネの芸名由来となったスラングのほうを思いついてしまいます。

国によって同じ発音でも意味や使われ方が全く変わってくることがあるので注意したいものです。

2018年の世相をあらわす「今年の漢字」は「災」でした。

「災」が選ばれた理由としては、西日本豪雨や北海道地震、それに相次いだ台風や記録的な猛暑などの自然災害によって多くの人が被災したことや、災害復興を支えるボランティアに注目が集まったこと、それに、スポーツ界でのパワハラ問題、財務省の決裁文書改ざん、大学の不正入試問題などが発覚し、多くの人がこれらを人災や災いと捉えたことが挙げられています。

トップ 10 にランクインした漢字は以下のものでした。

1位「災」、2位「平」、3位「終」、4位「風」、5位「**変**」、

6位「暑|、7位「大|、8位「最|、9位「新|、10位「金|

個人的には、2位と3位の合わせ技で「平成・終り」が2018年の世相を最も表しているように感じます。2019年は新元号で気分も新たに良いイメージの漢字に登場してもらいたいものです。

2018年は皆様にとってどのような年だったでしょうか。

2019年が皆様にとって良い年となりますように。



会社清算業務にあたってのコンサルティング・実務支援 等

合併、清算への実務指導、会社立ち上げサービス、管理·会計システムの構築・改善・再構築、 会計ソフト導入にあたってのアドバイス、他

日本人担当: 河本 和行 (かわもと かずゆき)



